

第6学年 道徳科学習指導案

指導者：井上 雅憲

- 1 主題名 自由と責任について考える 内容項目 A 善悪の判断, 自律, 自由と責任
- 2 教材名 修学旅行の夜 (出典 新しい道徳6 東京書籍)
- 3 ねらい 自由の大切さを理解し, 自他の自由を尊重するとともに, 責任ある行動について自律的に判断する力を育てる。

4 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

自己を高めていくには何物にもとらわれない自由な考えや行動が大切である。自由には, 自分で自律的に判断し, 行動したことによる自己責任が伴う。自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも, そこには内から自覚された責任感の支えによって, 自ら信じることに従って, 自律的に判断し, 実行するという自律性が伴っていないなければならない。

自由と自分勝手の違いや, 自由だからこそできることやそのよさを考えたりして, 自由な考えや行動のもつ意味やその大切さを実感できるようにすることが大切である。また, 自由に伴う自己責任の大きさについては, 自分の意志で考え判断し行動しなければならない場面やその後の影響を考えることなどを通して, 多面的・多角的に理解できるようにすることが重要である。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は, 明るく元気で, 委員会や係の仕事などで責任をもって自分から仕事をする児童が多い。

4月から, 最高学年として, 全校の手本となるような行動をとるよう指導してきた。また上級生としてのよい姿を共有するようにしてきた。その結果, 責任を果たそうとする児童が増えてきた。前年度での同じ内容項目の授業では, 多くの児童が公共のルールやマナーを守りながら楽しむことを自由だと考えていた。しかし数名の児童は, 公共のルールやマナーが大切だということは分かるが, それを守って行動することはできないと考える児童もいた。

本学級の児童に対して, この授業の内容項目に関するアンケートを実施した。結果は次の通りである。

自由と自分勝手の違いは何でしょう？	他人に迷惑をかけるかどうか	47% (8人)
	自分を優先するかどうか	23.5% (4人)
	ルールを守るかどうか	11.7% (2人)
	その他 (無回答1, 違う1, 米国と北朝鮮1)	17.6% (3人)

アンケートの結果から, 自分を優先したり, 他人に迷惑をかけてしまったりするのが自由と自分勝手の違いだと考える児童が多かった。昨年度, 同じ内容項目の授業で考えたことが, 定着しているように見られた。しかし, 自分勝手が良いことが分かっているにもかかわらず, 自分を律することがなかなかできない姿も多く見られる。なぜ自分勝手がいけないことだと思っても, 止められないのかを問うていきたい。

学級活動や朝の会, 帰りの会などで, 最上級生としての本当の楽しさについて話したり, 最上級生としてどのように行動すれば学校がよくなるか考えさせたり, 自由と責任について考える機会を設けてきたが, さらに自由と責任についての理解を深め, 本当の意味の自由について考えることができるようにしたい。

(3) 教材について

本教材は, 修学旅行の夜, 消灯後も大騒ぎをしてしまうという実際によくある問題を取り上げ, 自由と責任の関わりについて考える教材である。

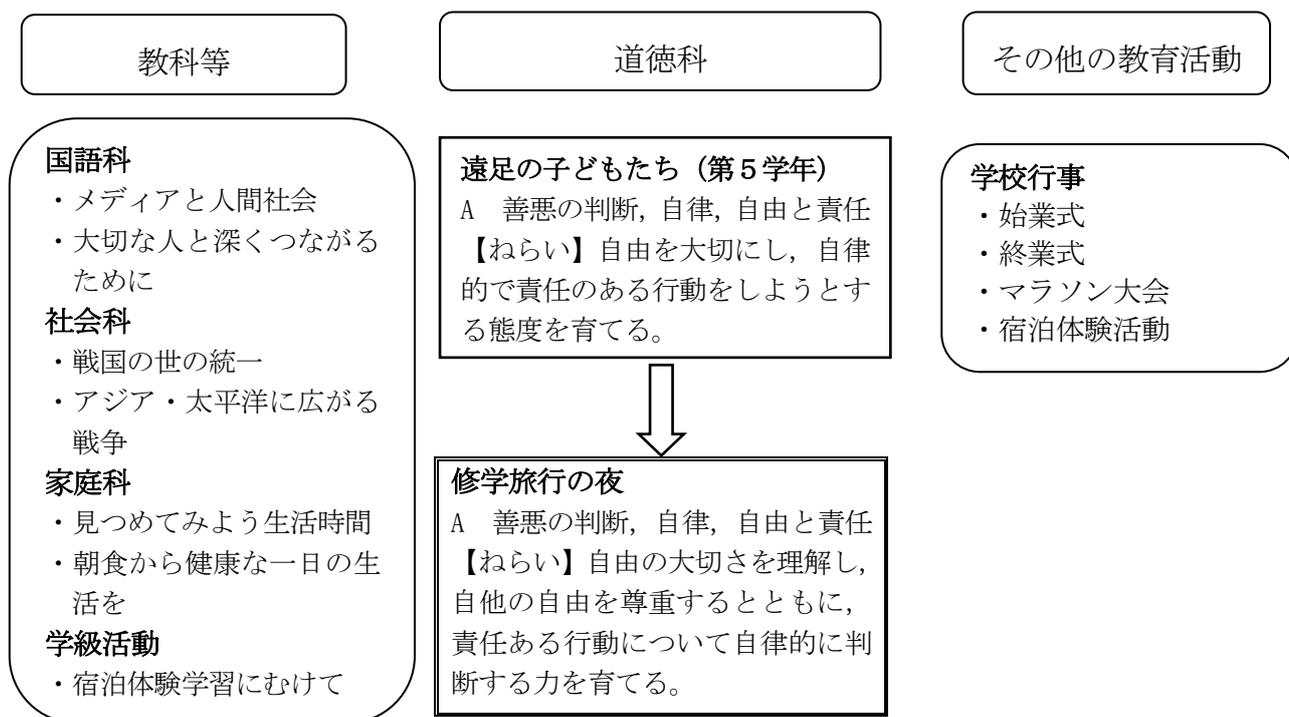
この班では, 夕食後の話題で, 「自由にしたい」と言いながらも, 「できるだけ静かに寝よう」というこ

とになった。しかし、消灯後、次第に楽しい気分になり、まくら投げ合戦になってしまう。そこに至るまでの班長の心の動き、先生の言葉、その後のみんなの様子など、身近で現実的な事柄を追いながら、ねらいに迫れるように構成されている。

班長の心情を自分のこととして考えることを通して、自律的で責任のある行動をすることの意味やよさの理解を一層深めさせていきたい。

5 研究との関わり

(1) 他の教育活動との関連



(2) 研究主題に迫るための手立て

自己を見つめ、考えを深めるために、立場を明確にして自分の思いを発表させる。とっさに出たつぶやきも話し合いに生かせるように板書していく。また、中心発問時では、全体発表する前に、自分の考えをまとめる時間を設け、自分の思いを相手に伝わるようにしてから発表するようにする。

① 発問の工夫

夕食の後、部屋に帰ってから、消灯後の行動が自由と自分勝手な行動だったかを考えさせる。その際、自由か自分勝手か判断した理由を確認する。児童の発言で不足があったり、さらに深めさせたい発言があったりしたら、児童に確かめながら、相手に伝わるものにして全体に共有する。中心発問では、先生が言われた「責任は班長だけにあるのか。」から「自由に責任は関係あるのですか。」と訊ね、これまで考えてきた自由について新たな気付きを実感させたい。この話し合いを通して自由を自分で判断することの大切さと、自己責任が伴ってくることに気づかせたい。そのためには、自由と自分勝手との違いだけにとどまらず、自由に伴う責任の大きさや、周りやその後の影響を考えさせる発問をすることで、より多面的・多角的な考えに触れさせたい。

② 構造的な板書

板書には、挿絵を掲示して話の流れを見通せるようにする。挿絵の行動を考えさせながら、自由か自分勝手かを問い、児童の考えを記入して共有していく。中心発問の前に、自由と自分勝手の共通点と違いを対比するように書くことで、自由に対する考えを深めさせる。

6 教材構成と発問の構成

教材分析	展開の構想	基本発問(○)中心発問(◎) 深める発問(☆)
導入	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果について紹介する。 価値についての方向付けをする。 	<p>○「自由」と「自分勝手」に対する考えを紹介します。他者理解</p>
<p>教材の流れ</p> <p>① 夕食の後、消灯後のことが話題になる。</p> <p>② 消灯後の様子。</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめ 注意しても聞かない 先生に注意を受ける まくら投げ となりの部屋から注意 先生に叱られる 	<ul style="list-style-type: none"> 問題意識をもつ。 自由か自分勝手な行動なのかを考えさせながら、自由の大切さと責任を取らなければならないことに気付かせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 夕食後の班長の気持ちを考えながら聞きましょう。 ○消灯後の行動について自由か自分勝手かを考えていきましょう。他者理解 人間理解 ◎先生が言っていた自由と自分勝手の違いは、皆さんが考えた違いと同じでしょうか。価値理解 ☆先生は「責任は班長だけにあるのか。」と言ったのはなぜでしょう。自由に責任は関係あるのですか。他者理解 人間理解
自覚化	<ul style="list-style-type: none"> 自分勝手だなと思う場面について考えを出させた後に、自分が自分勝手な行動をしたときのことを振り返らせる。 	<p>○皆さんにも、自分は自由だと思ってやっていたことが、実は自分勝手な行動だったことはありませんか。自己理解</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を振り返るようにする。 教師の説話 	<p>○自由とはどんな考えが必要ですか、アンケートに答えた時と比べて、考えが変わったことや、気付いたことを書きましょう。価値理解</p>

7 本時の指導

(1) 準備 教科書の挿絵・短冊・道徳ノート・PC・大型モニター

(2) 本時の展開

◇ICTの活用

	教師の働きかけ (○) と児童の反応 (・) 中心発問 (◎) 深める発問 (☆)	留意点 (・)
導入 3分	<p>1 問題意識をもつ。 アンケートの結果を紹介する。 ○自由が無いと困りますか。 ・自由は必要です。 ○今日は自由と自分勝手について話し合っていきましょう。 自由と自分勝手の違いは何でしょう？</p>	<p>◇事前アンケートの結果をTVに映す。</p>
展開 35分	<p>2 教材『修学旅行の夜』を読んで話し合う。 ○消灯後の行動について、自由か自分勝手かを考えていきましょう。また、その理由を言いましょう。 《自由》 ・自分たちがしたいことをするのが自由。 ・部屋みんなが楽しければ自由。みんなが納得している。 ・修学旅行の夜は特別だし、自分たちの思う通りにするのが自由。 《自分勝手》 ・先生に注意を受けたのに、おしゃべりをしたりまくら投げをしたりするのは自分勝手。 ・就寝時間を破っている時点で自分勝手。 ・隣の部屋の人に迷惑をかけたから、自分勝手だと思う。</p> <p>◎先生が言っていた自由と自分勝手の違いは、皆さんが考えた違いと同じでしょうか。 ・迷惑をかけないのは自由だけど、迷惑をかけない自由ってあるのかなあ。 ・みんなの「自由」を守らなければ自分勝手。</p> <p>☆先生は「責任は班長だけにあるのか。」と言ったのはなぜでしょう。自由に責任は関係あるのですか。 ・班長は責任を取らなきゃいけないけれど、一人一人も責任を取らなければならなかった。 ・自由にすると同時に、その行動に責任をもつことが必要だから。</p> <p>○みなさんにも、自分は自由だと思ってやっていたことが、実は自分勝手な行動だったことはありませんか。 ・昼休み遊びに熱中して図書委員の仕事を忘れた。代わりに友達が仕事をしてれていた。 ・図書館で友達とおしゃべりしていたら楽しくなって、声が大きすぎての人に注意された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵を音声教材に合わせて黒板に貼る。 ・自由を挙げる児童は少ないと思われる。登場人物の気持ちになって本音の部分を引き出す。 ・児童の発言を対比するように板書する。 ・自由と自分勝手の違いについての考えの共通点をまとめる。 ・自分の考えをノートに書かせた後、話し合わせる。 ・話し合いを通して自由を自分で判断することの大切さと、自己責任が伴ってくることに気付かせたい。 ・自分自身の生活を振り返らせる。

<p>終末 7分</p>	<p>3 本時の振り返りをする。 ○自由とはどんな考えが必要ですか。アンケートに答えた時と比べて、考えが変わったことや、気付いたことを書きましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>めざす児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の自由を大切にするには、ほかの人の自由も大切にする必要がある。つい自分を優先して行動してしまうのでよく考えて行動したい。 自由とは全くのフリーではなく、責任をもつことだと分かった。今のことだけでなく、その後のことも考えるようにしていきたい。 </div> <p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>◇最初の考えを比べられるように再度事前アンケートを提示する。</p>
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

〈評価の視点〉

- 自由と自分勝手の違いについて、様々な視点から捉え、考えようとしている。
- 自由のもつ本来のよさについて、自分との関わりで捉え、考えようとしている。

8 板書計画

